

# 教育センター研修だより



南砺市教育センター

## 南砺市小中学校学力向上研修会

下記の通り、市内小中学校の教務主任・研修主任の先生方を対象に学力向上研修会を実施しました。

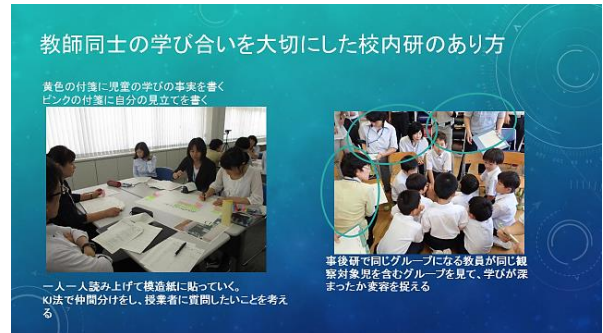
- |      |   |  |
|------|---|--|
| 1 日時 | 平成30年8月27日（月） 13:30～16:30   |  |
| 2 会場 | 南砺市役所 井波庁舎  |  |
| 3 講師 | 富山県総合教育センター 学力向上推進チーム<br>研究主事 脊戸 義明 先生  |  |
| 4 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会の挨拶〔高田教育長〕</li> <li>・本研修会の趣旨・講師紹介〔松永所長〕</li> <li>・報告「各校の取組の成果や軌道修正からみる南砺市の学力向上に向けての授業改善」〔教育センター 松井指導主事〕</li> <li>・学力向上拠点校の取組の紹介〔福野小学校 研究主任 安田陽子先生〕</li> <li>・情報交換</li> <li>・講義「学力向上に向けた授業づくり・授業改善」</li> </ul> |  |

### 【研修会の内容】

#### 1 学力向上拠点校の取組の紹介 ～福野小学校の取組より～



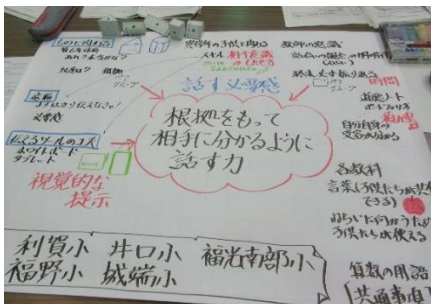
【重点：教科横断的な学習・対話】  
学んだことを、他の教科・領域等で生かす教科横断的な授業を意図的に設けている。  
互いの考えや事象同士を比較して話し合う場を設け、対話のある授業を目指している。



【教師同士の学び合いを大切にしたい校内研】  
一人一人の思いや願い、変容を見取り、適切な支援につながるよう、教師の見取りの力を高める校内研修会の在り方を工夫している。

学力向上プログラム研修会（拠点校研修） 福野小学校（2年次）11月22日（木）

#### 2 情報交換 ～学力向上に向けての1学期の取組の成果、対策の軌道修正、授業改善等～ 小中学校別小グループでの情報交換後、各グループでの話題を紹介し、情報を共有した。



【教材例（音楽科）】  
「音楽を形づくっている要素」を意識できるような提示の工夫

各グループの記録、持ち寄った教材等の資料は、以下のフォルダーにあります。ご活用ください。  
0. 小中学校共通¥10 教育センター¥00 市教育センター研修¥H30¥20 学力向上研修¥「研修会当日 資料画像」

「学習課題」の吟味・工夫で、主体的な学びにつなげましょう

<p><b>子供が本気で考えたい学習課題の条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童・生徒にとって興味・関心があり、学ぶ必然性があるもの</li> <li>○ 問いかけが具体的で、何をすればよいかが目瞭然のもの</li> <li>○ 解けそうで解けない難易度のもの</li> <li>○ 調べて終わりではなく、持続し発展するもの</li> <li>○ 「本時のまとめ」が「答え」となる問い</li> </ul> <p>・子供の心をつかむ教材の工夫 ・あっと言わせる教材提示の工夫</p> <p>課題を自分のこととして捉えさせる！</p>	<p><b>ねらいに即した学習課題</b></p> <p>ねらい → 学習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実を認識する → 「どのような～」</li> <li>因果関係が分かる → 「なぜ」「どうして～」</li> <li>判断する・比較する → 「どうしたらよいか」「AとBどちらが～」</li> </ul> <p>ねらいに即した学習課題に</p>	<p><b>子供の問いを引き出すために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を少しずつ提示 → 先を予想</li> <li>複数の資料を比較 → 違い、変化を問う</li> <li>似て非なるものを提示 → 疑問、迷い、ズレ</li> <li>条件を加え、負荷を上げる → 解決意欲の向上</li> </ul>
---	--	--

「論理的な思考力・表現力」を伸ばし、話合いの質の向上につなげましょう

<p><b>三点セット</b></p> <p>根拠 (本文中の叙述、資料やグラフ、実験データなど)</p> <p>主張</p> <p>理由づけ (子供たちが、実感として分かるためには、この「理由づけ」のところに、体験、経験を引き出すことが、大変に重要です。自分なりの解釈、説明)</p> <p>大切なのは、「根拠」と「理由」を分けることです。「根拠」と「理由」をしっかりと分けたときに、子供たちの「話」は、「話合い」へと変わっていきます。</p>	<p>教師が根拠・理由・主張を意識して問い返しをする</p> <p>ひょうじゅう</p> <p>先生 さんは兵十のことをどう思っていたのでしょうか？</p> <p>児童 兵十と友達になりたかったんだと思います。 <b>主張</b></p> <p>先生 どこからわかりますか？</p> <p>児童 95ページの3行目に「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十が。」と書いてあります。 <b>根拠</b></p> <p>先生 どうして、「ひとりぼっち」と書いてあると、友達になりたいと思うのですか？</p> <p>児童 ひとりぼっちだと、さみしいので、友だちが欲しいと思うからです。 <b>理由づけ</b></p> <p>H28「アクティブ・ラーニング推進リーダー研修会」資料より</p>	<p><b>交流を生み出す学びの言葉</b></p> <p><b>なるほど</b> ・心からの共感の言葉は子供に響く。子供も友達の考えを共感的に聞くようになる。</p> <p><b>どこから</b> ・「どこからそう考えたの？」と根拠を明確にする問い返しの言葉。</p> <p><b>どうして</b> ・「どうしてそう考えたの？」と理由を明確にする問い返しの言葉。</p>
---	--	--

参加者の感想より

～「校内に広め、取り組んでいこう」「さらに力を入れていこう」と思ったこと～

必要感ある学習課題

- ・話し合う必要感のある学習課題を設定、提示の工夫をする。
- ・「解けそうで解けない問題」「調べて終わりではなく追究が持続する問題」等、日々の授業の中で工夫していきたい。

根拠・理由・結論

- ・子供たちが「根拠・理由・結論」の三点セットをわせた手立てを考え、全校で取り組んでいきたい。
- ・根拠を明らかにするための問い返し、ワークシートの充実を図りたい。

「まとめ」と「振り返り」

- ・「まとめ」と「振り返り」は違うということを共通理解しようと思う。

教師の学び合い 「対話的な学び」のイメージ共有

- ・教師間で学び合う場が、十分にもっていない現状なので、「教師同士の学び合いを大切にしたい校内研」を行っていききたい。
- ・「対話的な学び」とは、子供のどんな姿なのか。まずは、教師間でイメージの共有化を図りたい。

聴く力

- ・分かりやすく話す力を高めるために、聴く視点をもって傾聴する力が身に付くようにしていきたい。

「家庭学習」で追究

- ・授業で学んだことを、家庭学習でさらに追究できるように取り組んでいきたい。